



宮崎県埋蔵文化財センター

床石置！通路で
発掘体験中！



土器や石器も掘り出し作業中。
一列にならんと掘り過ぎないように慎重に作業もしています。

昔の人々が
使った道具を
出張展示しました。



昔の人って
こんなものを使って
生活していたんだよ。



埋蔵文化財センターの職員が
私たちの足下にある歴史について
熱く語っています。

どんな手触り？
軽いかな、
重いかな？



土器を
さわってみよう！



何が入って
いるのかな？



埋蔵文化財センターの
遺物保管場所見学。

この土器はねえ…



センターの職員が
熱血指導中！

埋蔵文化財センターでは、
希望があれば遺物や映像を
用意し、県内各地で出前講座
を実施しています。自分たち
が暮らす地域に眠っていた
昔の人の暮らしをわかりやすく
解説いたします。実際に土器
や石器を手にしていただき、
【身近な歴史を「本物」に触れて
学ぶ】ことができます。

希望があれば県内どこにでも出張します。
詳しくは宮崎県埋蔵文化財センターまで連絡を。

埋蔵文化財通信



ひまわり



宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎市佐土原町下郡珂 4019 番地 TEL0985-36-1171
<http://www.miyazaki-archive.jp/index.html>

問い合わせ先

発行日：2009年9月28日 編集：宮崎県埋蔵文化財センター

デザイン協力：宮崎県立佐土原高等学校産業デザイン技術部

宮崎県埋蔵文化財センター 施設公開

埋蔵文化財センターを
のぞいてみませんか!

体験コーナー
(土器の復元・拓本)

●と き：平成 21 年 11 月 3 日(火)
午前 9 時～午後 4 時 30 分まで

見学・観察コーナー

●と ころ：埋蔵文化財センター本館・分館



埋蔵文化財センター本館
宮崎市土佐町下新町 4019 番地 TEL0985-26-1174



埋蔵文化財センター分館
宮崎市神宮 2 丁目 4-4 TEL0985-21-1600

ここまでわかった ひむかの歴史

埋蔵文化財センター
分館にて
講座をおこないます。



「中ノ迫遺跡群の調査成果から」

10月24日(土)

午後 1 時 30 分～ 資料公開は (10/17～)

●会場：宮崎県埋蔵文化財センター分館
(宮崎県総合博物館隣)
お問い合わせ：TEL0985-21-1600

発掘調査速報!

水と火の中世遺跡

とう こう じ

東光寺遺跡

児湯郡高鍋町大字持田宇東光寺

13～14世紀を中心とした、
中世の土器や陶磁器などのほかに、
火を使って鉄を溶かした炉の跡も
見つかりました。

また、湧き水が多く見られる
谷筋の遺跡であることから、
まさに「水と火の中世遺跡」と
いえます。



磨石製のスタンプ

みやこんじょうの弥生集落

どう め じ

働女木遺跡

都城市五十町

働女木遺跡では、弥生時代の住居
跡や土器や石器が数多く見つって
います。遺跡が宮崎県と鹿児島県
の県境に位置しているためか、
宮崎県・鹿児島県それぞれの特徴
をもつ土器が見られ、文化の交流
地点であったことがうかがえます。



北川町の巻

にし しろ あと

西の城跡

延岡市北川町長井

一見ただの山にしか見えませんが、実際歩いて
みると、不自然な凹みや高まりがいくつも確認
できます。この城は文献には登場していない謎の
多い中世の山城です。今回は東九州自動車道建設
に伴い、敵の侵入を監視するためのやぐら台が
あったと考えられる平坦地の調査をおこなっています。

